横浜YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.493 2019

YMCANews 5

2019年5月1日発行
（毎月1日・1回発行）
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行／公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721

横浜青年

子どもたちとともに

港北区基幹相談支援センター　蛯名さゆり

桜の季節が過ぎ、新緑に目を奪われる頃となり、加えて、今年度は令和元年として5月を迎えています。

日増しに暖かくなり、過ごしやすい季節のように感じる反面、新年度として新しい生活が始まって1カ月、体調面でも精神面でもバランスを崩しやすい時期でもあるかと思います。

担任の先生が代られたり、教室が変わったり、クラスメイトが増えたり減ったり、いろいろな変化の中で、何とかそれらに順応しようと努力した4月を終え、10連休でホッと一息、このホッと一息でリズムが崩れる…ということもあるのではないかと思います。そのような時は、今は助走期間と考え、ゆっくり体と心の回復を待つことが必要なのかもしれないと思います。

また、社会情勢が変わっていく中において、子どもたちを取り巻く環境も変わってきています。情報量が多くなり、利用できる社会資源も増え、大人だけでなく、子どもたちも上手な情報の得方や資源の使い方を学ばなければならない時代になってきているように思います。上手に情報を会得・資源を活用できないと、情報に振り回され、自分に合った資源を見つけられず、混乱に拍車をかけることになるように思います。そのような時は、一呼吸おいて、情報の整理をすることが必要なのかもしれないと思います。

リズムやバランスが崩れやすい季節でもあり、混乱をきたしやすい社会情勢でもある中、子どもたちの持つ力をより良い方向に育んでいくために、私たち大人が出来ることは、子どもたちの持つ力を信じ、間違った方向に進みそうになった時には正すという姿勢ではなく一緒に考えるという姿勢を持ち、ほめることを忘れず、見守る忍耐力を持つことなのかもしれないと思います。

子どもたちが一人の大人として成長するために、多くの気づきを持ち、多くの経験を積んでいくことが大切ではないかと思いますが、それを家族だけで支えていかなくてはいけないと考えていただく必要はないのかなと思います。

県内・市内には、不安なこと・困ったことがあった時に、相談できる機関がいくつもあります。私が所属する港北区基幹相談支援センターや横浜ＹＭＣＡの教育相談センターも気軽に相談できる先の一つです。

子どもたちがより良い環境の中で人生の目標が見つけられるよう、微力ながら伴走者になれたらと思います。困ったことがあれば、ぜひ声をおかけください。ご一緒に子どもたちを見守り、必要なサポートをしたいと思います。子どもたちのより良い育ちを願って、共に歩んでいきましょう。

▲ 発達障がい児のための清里高原小学生キャンプ（2018年夏）

教育相談センター　18歳未満の児童・生徒の発達相談

4月から新しい環境で緊張感を感じる中「勉強についていきにくい」「集中力がない」「コミュニケーションが苦手」「集団行動が苦手」といったケースを気軽に相談できる横浜YMCA教育相談センター（横浜北YMCA内）は、だれもが自分らしく生きていくことを願い開設しています。相談は完全予約制で来館による面談。1回50分。午前10時から午後5時。1回あたり5500円（税別）。
☎045-433-4321。bl_info4@yokohamaymca.orgへ。

児童発達支援　それぞれに合った早期からのケア

就学前の発達が気になる子どもを支援しようと横浜北、厚木、藤沢の3カ所のYMCAで児童発達支援事業を行っています。就学前は、着替えや食事などの身辺自立や社会性、コミュニケーションを学ぶ大切な時期で、発達に遅れや偏りがみられる子どもには、それぞれに合った支援を早期から行い適切な行動やスキルの習得につなげていきます。希望者は、見学、体験、事前相談を経て、市（区）役所で受給者証受領後、YMCAに申し込みとなります。

ホドス

年をとると、生涯何か一つでも遺しておきたいと思うようだ。心に残り後輩に益するようになるものを▼作曲家中田喜直と大中恩が対談した折、一曲だけで名を世に知らしめた双方の父の遺作を話し合っている。敗戦前の作品で中田の父章の『早春賦』と大中の父寅二の『椰子の実』である。どちらも日本の名曲として今日まで合唱団に歌いつがれてきた。しかし作曲者名を知る人は少ない。中田章は音楽学校教授、大中寅二は霊南坂教会オルガニスト。二代目の作曲家は亡き父の二曲を予め評価し合い子同志で亡父が残した二曲が世代を超えて歌いつがれていることを話している。大中恩の死を新年早々知って、時代の推移を感じさせられる。バッハの家系に多くの作曲家が出たことは有名であるが、二代目は作家たちに多いようだ▼戦後間もなく團伊玖磨も加わり新しい子どもの歌が作られ、母と子どもたちに愛された。二代目の二人は競うように多く作曲したが、先代の父が遺した二曲も共に戦後世代に愛唱されるようになった。大中のいとこで芥川賞作家の阪田寛夫が童謡『サッちゃん』を書き、恩が作曲して流行すると、声楽家である中田夫人に「どうしてあなたが作曲しなかったの」と聞かれたことを中田から側聞したことがある。偶然、中田夫人の実名は幸子だった。サッちゃんの歌は作詩者ゆかりの大阪の幼稚園に詩碑が建てられた。昨年、阪田の長女が父の伝記を書き、エッセイストクラブ賞を受賞した。（愛）

YMCA NETWORK NEWS

横浜 クラブフェスタでSDGs自分事に

県内7つのYMCA学童クラブと横浜市から横浜YMCAが運営を委託されている7つの放課後キッズクラブ、私立横浜英和小学校アフタースクール合同による「クラブフェスティバル～ステージ発表＆ワイエムタウン商店街であそぼう！」が3月27日に横浜市開港記念会館で開催され、315人が参加した。

フェスティバルでは、各クラブがダンスや歌（横浜中央YMCA学童クラブ・上飯田小学校放課後キッズクラブ）、ハンドベル（東とつか小学校キッズクラブ）などを披露した。午後には、各クラブがブースを出店し、仮想コインで買い物するワイエムタウン商店街で働く体験と遊ぶ体験を行った。各ブースには、国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の17の目標から自分たちのブースにあう目標のロゴを掲げて子どもたち自身が地域や社会の課題を考える機会となった。

地域のニーズに応え4月開園 小規模保育園 大和YMCA保育園

行政や地域の施設関係者招き4月28日に開所式

2019年4月1日から、大和YMCAライフサポートセンターに、横浜YMCAで14園目となる「小規模保育園大和YMCA保育園」が開設した。

大和YMCAは、開設から36年、2003年からライフサポートセンターとして運営を展開している。子どもから高齢者まですべての人がより充実した生涯を過ごすことを目指し、ライフステージ別にトータルにYMCAが関わりを持ち、共生していくという横浜YMCAのライフサポートセンター構想を具現化する施設として開設された大和YMCAライフサポートセンターは、当時の施策により、乳幼児と青少年、高齢者の支援を同一会館で実施することは適わず、大和YMCAファミリーセンターとライフサポートセンターの二つを設置し、連携してそれぞれの世代への支援をスタートした。

その後の施策変更に伴い、ファミリーセンターとライフサポートセンターを統合し支援を行ってきたが、大和市では、大和駅周辺の大規模マンション開発等により、待機児童が急増し、保育所の整備がこの度の開園に急務となり、至った。

小規模保育園の園対象は、生後週間から3歳未（2歳児クラスで）となっている。4月からは16で（定員19人）スタートし、保者とともに4月日に入園式を行った。入園式で中恵子園長は、子どもたちに分かりすい手遊びつき讃美歌を歌い、ども たちも笑顔手を動かしながら歌った。

施設を利用している高齢者は、保育園の靴箱に入っている小さな靴を見て「かわいいね」と子どもたちの様子を気にする場面も見られ、子どもたちを歓迎した。施設では、高齢者が子どもと触れ合うことで、会話が促進されることや日常生活の改善につながることも期待されている。

4月28日には、大和市をはじめ、地域の幼稚園や保育園、近隣の施設の関係者、横浜YMCAの理事・常議員や運営委員、スタッフなどを招いて開所式が開催された。

大和YMCA保育園に関する問合せは、大和YMCA保育園☎046(214)3192へ。

▲大和YMCA保育園入園式で園児と保護者にあいさつする中野恵子園長

専門学校合同の入学式 21の国と地域からの留学生と

横浜YMCA学院専門学校、YMCA健康福祉専門学校、横浜YMCAスポーツ専門学校、YMCA国際ビジネス専門学校では、4月2日に神奈川県立青少年センター（横浜市）において入学式を行った。

第1部では、益巖牧師（日本バプテスト同盟大師新生教会）から「いのちの言に出会う」の題で「これからの学びや技術を活かす心から通じ合う言葉をかけられる人となるよう多くの人と出会い、多様な経験を積み重ねてほしい」とメッセージがあった。

第2部入学式では、最初に大高聡学院長が「自分が輝くだけでなく回りの人も輝かすことができる専門職を目指しましょう」と式辞を述べた。続いて、工藤誠一横浜YMCA理事長が「次代を担う専門職を目指す者として素直な心をもって積極的に、主体的に楽しく学んでほしい」とあいさつした。最後に、田口努横浜YMCA総主事が「YMCAの多様な活動の体験を通して共に生きる原体験を積み重ねていきましょう」と述べた。

その後、在校生の歓迎パフォーマンスと新入生の誓いの言葉が述べられた。

▲新入生を代表し誓いの言葉を述べた横浜YMCAスポーツ専門学校の影山来亜さん

Topics

笑顔で学校生活の一歩踏み出すために「入学おめでとう応援隊」

4月に県内と町田にある4つの朝鮮学校で行われた入学式に、今年も横浜YMCAの会員やスタッフを含めた多くのボランティアが新入生の入学を見守り祝いました。

2003年から始まったこの活動は、嫌がらせを受けることの多い朝鮮学校に通う子どもたちに安心して登校してもらえるようにと、県内のNPOなどが「入学おめでとう応援隊」を編成し入学を祝っています。

4月6日に、西東京朝鮮第二幼初中級学校（町田市）、7日に横浜朝鮮初級学校、川崎朝鮮初級学校、南武朝鮮初級学校の4校の入学式会場でハングルと日本語で書かれた「入学おめでとう」ののぼりを掲げ祝いました。横浜朝鮮初級学校の入学式では、校長先生から入学おめでとう応援隊の紹介もあり、「多文化共生社会を共につくりましょう」と呼びかけがありました。終了後には、振り返りの時間を持ち、ヘイトスピーチなど厳しい状況がある中で、日ごろの思いを共有しました。

今月の「平和の川柳」

パパとママ　けんかするけど　すぐあくしゅ

ペンネーム　たかつ　はんなさん（YMCAたかつ保育園）

まどをあけ　みんながそとで　あそんでる

ペンネーム　ここみんさん（金沢八景YMCA　体操クラス）

♫子育てランド♪ 流水と石けんで清潔に

近年、テレビなどで抗菌・殺菌・除菌のワードをよく目にするようになりました。皆さんもよく知っている除菌用のハンドジェルタイプのものは持ち運びしやすく、一見便利ですが、手などに付着した菌を殺すほどの成分が配合されています。悪い菌だけではなく、傷口を自分で治そうとする良い菌までも殺してしまうことになるのです。

病院でも数年前から、消毒よりも流水で洗い流すことが重要とされ消毒に関する見直しがされました。また、殺菌力が強いと皮膚や爪の乾燥・ささくれにもつながり、皮膚のトラブルの原因になってしまうこともあります。手や皮膚を清潔に保つには、流水と石けんがあれば十分です。

人間は、菌と共存している生き物です。良い菌も悪い菌も一度に排除せず、仲良く付き合っていくことが体を丈夫にするために必要なことになります。

5月に入り外遊びをしやすくなりますが、清潔にしすぎる育児をちょっと見直してみませんか。

（YMCAマナ保育園　保育士　佐藤かな）

横浜 ウォーキングで敢闘賞を受賞

人生100歳時代を迎え、神奈川県では、子どもから高齢者まで、健康でいきいきと暮らせる社会を実現するために「食」「運動」「社会参加」の三つを要素とした未病改善の取り組みをSDGs（持続可能な開発目標）の達成につなげることとして進めている。

このうち「マイME－BYOカルテ」企業対抗ウォーキングに横浜YMCAでは、健康経営の取り組みの一つとして、1月にスタッフが一日の歩数を登録した結果、敢闘賞を受賞した。

3月14日には、神奈川県庁において黒岩祐治県知事出席のもと、表彰式が行われた。

子どもの輝く未来のために 子ども支援基金 申請受付6月7日迄

少子化が進む中、神奈川県内の児童相談所における児童虐待相談件数は年間1万3千件（2017年）を超え、子どもの年代は、0歳から就学前が5827件で4割以上を占め、小学生は4344件、中学生は1858件となり、生きにくさを感じながら生活する子どもが多くいる。

学校基本調査によると生活保護世帯や児童養護施設の子どもたちの高校や大学への進学率は、全体の平均よりも低く、生まれ育った環境が子どもの将来に影響していることが分かる。神奈川県では、子どもの貧困対策として教育・福祉・医療・就労、住宅など子どもやその子どもを支える保護者に対して継続的、包括的な支援を進めている。

そういった中、横浜YMCAでは、子どもたちが自分の人生を切り拓いていくためにさまざまな機会に参加し、人と出会い、つながりを持つことは大切なことと考え、「子ども支援（BAPY＝Be A Partner of the Youth）基金」による支援を行っている。

YMCAのキャンプや水泳、体操などの諸活動に経済的な理由等により、参加したくてもできない（被保護世帯、非課税世帯）、保護者の保護を受けられない青少年に対して、費用の全額または一部を援助しようというもの。

各YMCAでは、夏季プログラムの申請を6月7日（金）まで受け付けている。基金の詳細や申込み方法、募金へのご協力は最寄りのYMCAへ。

▲多世代との交流や自然との触れあいの機会をでだれでも公平にチャンスがあるように

こもれび 共に命輝くとき

総主事 田口　努

老人と子どもとは
不思議な親近性をもっている。
子どもはあちらの世界から
来たばかりだし、
老人はもうすぐあちらに
行くことになっている。
両者ともあちらの世界に
近い点が共通なのである。
青年や壮年がこちらの世界の
ことで忙しくしているとき、
老人と子どもは不思議な
親近性によって結ばれ、
お互いを、かばいあったり、
共感し合ったりする。（中略）
老人と子どもは正反対である
ことも事実である。
反対の部分と共通の部分と、
これが作用し合って、老人
と子どもの間に興味のある
交流が生まれてくるので
ある。（『子どもの宇宙』岩波新書・河合隼雄著）

河合さんは、大人は「量的世界観」の時間の流れに生きており、子どもと老人は「質的世界観」の時間の流れに生きている点で共通している。

人間は、量的世界と質的世界のバランスをとり生きているが、現代社会は量的世界の価値観が強くなりすぎ生きづらくなっていると指摘する。

4月1日に、大和YMCAライフサポートセンター内に大和YMCA保育園が開園した。

保育園児の0歳から、高齢者のデイサービスにおられる101歳までの生涯を支えるライフサポートセンターとなった。高齢者中心だった施設に、毎日、乳幼児の親子が通い、1日中、乳幼児の声が響き、デイサービス利用の方の笑顔と喜びの時が増え、子どもたちのためにお手玉でも作ろうという声も上がり、張り合いが増えてきたようだ。自然に園児と高齢者が握手する姿も見られ、互いに笑顔が広がる。ゆったりとした時間がとても良い豊かな時となっている。

藤沢YMCA開設40周年 116人が共に祝い交流深めた

1978年に開設した藤沢YMCAは、創立40周年を迎え、3月17日に記念礼拝とホームカミングパーティーを開催した。会員や元リーダー・スタッフなど116人が参加した。記念礼拝で坂元幸子牧師（藤沢バプテスト教会）は、「つながる・つなげる・新時代」をテーマに「あらゆる世代の居場所となる働きを続けてほしい」と話した。

ホームカミングパーティーでは、工藤誠一横浜YMCA理事長が「多くの方のお支えに感謝いたします。今後も平和の実現を形にする活動をさらに進めていきましょう」とあいさつした。開設当初から会員で3世代にわたり会員の牧野啓二さんは、開設当初の様子やYMCAに通い、いきいきと過ごせていることを語った。最後に田口努横浜YMCA総主事、廣瀬泰弘実行委員長が感謝の言葉を述べた。

▲藤沢YMCA40周年を共に祝った皆さん

横浜つるみワイズ（仮称）設立総会

3月17日に、横浜つるみワイズメンズクラブ（仮称）の設立総会が鶴見中央YMCAにて行われた。ワイズメンズクラブは、YMCAの活動を支援し地域や国際社会に奉仕する世界的なボランティア団体で、神奈川県内には7クラブある。設立総会では、佐藤節子湘南・沖縄部部長があいさつし、田中博之アジア太平洋地域会長や宮内友弥東日本区理事が祝辞を述べた。久保勝昭設立準備委員長が設立経過の報告を行った。

▲設立総会で横浜つるみワイズメンズクラブのメンバーが紹介された

今年度会員総会 5月25日(土)開催

横浜キリスト教青年会会則第19条に基づき、2019年度横浜YMCA会員総会が5月25日（土）午後5時から湘南とつかYMCAで開催される。これに先立ち総会準備委員会（金井之広委員長）において総会構成員の認証が行われ、4月18日に開催された理事・常議員会で承認された。その結果、今年度は513人の構成員（内キリスト者257人）で総会が行われることになった。

会員総会では、2018年度の横浜YMCAの事業、決算報告のほか、2019年度の事業計画・方針、予算案について協議、常議員の選出、会員表彰が行われる。また、特別プログラムとして「私とYMCA」をテーマに、YMCAにかかわるユース（35歳以下）がYMCAでみつかったことや、つながったこと、成長したことなどについて紹介する。YMCAの活動を通して一人が良くなることで、地域や社会を変えていく力につなげることを共に考えていく。

FLASH NEWS

横浜YMCAでは国際協力事業としてタイ、カンボジア、ミャンマーのYMCAとの協働プロジェクトを展開している。5月25日（土）午後2時半から4時には湘南とつかYMCAにて、今年から始めたミャンマー・タングーYMCAとの生活改善・介護教育プロジェクト、カンボジアYMCAシェムリアップ・プロジェクト、タイ・バンコクYMCAとのプロテクト・ア・チャイルドプロジェクトの報告と8月8日（木）から8月18日（日）に開催する「第26回国際ボランティアinタイ」の説明会を開催する。現地を訪問したメンバーが現地の情報や今後の取り組みを紹介する。

横浜YMCAは台湾・台北YMCAに台北在住交流幹事としてスタッフを派遣し、在台日本人へのサッカーや水泳、体操などのスポーツ指導や野外活動、日台交流事業などを実施している。2018年8月から2020年3月までスポーツインストラクターとして派遣中の渡邊祐介さんは3月27日一時帰国し、4月1日に赴任の報告を行った。

ワイズコーナー できることをできるだけ

ワイズ・ユースクラブ横浜－Y3

ワイズ・ユースクラブは、メンバーが忙しい中、毎年恒例のワークキャンプを行っています。「想いをどうつなげていくか」を考えながら「自分たちができることをできるだけ」を大事に活動を続けています。

富士山YMCAの草刈りから始まったワークも形を少しずつ変えて、今の形に落ち着いてきました。夏に向けて、ワークキャンプを開催するいい季節になりましたので、また皆さまと集まって楽しい時を共に過ごしたいと思います。

今後ともご支援よろしくお願いします。

次回の活動は、恒例の富士山YMCAの感謝祭のサポートになりますが、今年はゴールデンウィークの関係で10月の感謝祭となります。

（Y3会長　黒澤伸一郎）

横浜中央YMCA	☎045(662)3721
横浜北YMCA	☎045(433)4321
藤沢YMCA	☎0466(26)1151
横須賀YMCA	☎046(834)5811
川崎YMCA	☎044(932)2031
厚木YMCA	☎046(244)4181
YMCA ACT	☎045(316)1881
鎌倉YMCA	☎0467(24)7859
YMCA山手台センター	☎045(813)1022
湘南とつかYMCA	☎045(864)4768
金沢八景YMCA	☎045(782)3003
YMCA東とつかセンター	☎045(392)3747
大和YMCAライフサポートセンター	☎046(264)3192
横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ	☎045(867)0090
横浜YMCAワークサポートセンターレザン	☎045(860)5252
YMCAあつぎ保育園ホサナ	☎046(222)8619
YMCA山手台保育園アルク	☎045(813)1022
YMCAとつか保育園	☎045(870)3663
YMCAマナ保育園	☎045(790)3588
YMCAとつか乳児保育園	☎045(870)3235
YMCAつるみ保育園	☎045(500)5030
YMCAかわさき保育園	☎044(520)1825
YMCAいずみ保育園	☎045(800)3010
YMCA東とつか保育園	☎045(820)5588
YMCA東かながわ保育園	☎045(440)3763
YMCAたかつ保育園	☎044(281)7833
金沢八景YMCA保育園	☎045(353)5130
YMCAオベリン保育園	☎042(707)9974
大和YMCA保育園	☎046(214)3192
富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ	☎0544(54)1151
三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ	☎046(888)2100
鶴見中央YMCA	☎045(508)7800
YMCAライフサポートセンター鶴見	☎045(506)0131
YMCAライフサポートセンター関内	☎045(680)6680
本部事務局	☎045(662)3721

INFOMATION

横浜YMCA

レクチャー

■イングリッシュセミナー
日　時　５月17日（金）午前10時～正午
会　場　鎌倉YMCA　201教室
テーマ　My art ―Coloured pencils & Dust―
講　師　Michelle Zacharias さん
参加費　会員1,100円、一般1,400円
申込み　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859

キリスト教理解

■聖書からの学び
日　時　５月30日（木）
　　午前10時30分～11時10分
会　場　湘南とつかYMCA　２階教室
講　師　堀野浩嗣氏（横浜戸塚バプテスト教会牧師）
テーマ　「主イエスと出会う」
参加費　無料
問合せ　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

■バイブルカフェ
日　時　５月29日（水）午後６時30分～７時30分
会　場　川崎YMCA21教室
講　師　青木　靖氏（登戸エクレシアキリスト教会副牧師）
テーマ　「人生のチャレンジと聖書」
参加費　無料
問合せ　川崎YMCA　☎044(932)2031

■聖書を読んでみよう会
日　時　５月21日（火）午後６時30分～８時
会　場　横浜中央YMCA６階教室
テーマ　「ヨハネによる福音書を読む」
参加費　無料
問合せ　横浜中央YMCA　☎045(307)7556

■聖書に聞く「新約聖書　イエスのたとえ話」
日　時　５月17日（金）午前11時～正午
会　場　横須賀YMCA
テーマ　「愚かな金持ち」のたとえ
参加費　無料
問合せ　横須賀YMCA　☎046(834)5811

イベント

■金沢八景YMCAヘルシーキッズデー「家族で遊ぼう！海フェスタ」
日　時　５月11日（土）午前10時～正午
会　場　海の公園（横浜市金沢区）
対　象　小学生とその家族
参加費　１組500円
申込み　金沢八景YMCA　☎046(782)3003
○家族で思いきり体を動かします。

■三浦うみあそびキャンプ
日　時　６月１日（土）～２日（日）
会　場　三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ
集　合　藤沢YMCA　午前８時30分
　　鎌倉YMCA　午前９時
解　散　藤沢YMCA　午後５時
　　鎌倉YMCA　午後４時30分
内　容　シーカヤック、磯遊び、キャンドルファイヤー、野外炊事、ウォークラリーなど
対　象　５歳（年長）～小学６年生
参加費　会員15,120円、一般16,200円（税込）
申込み　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859
　　藤沢YMCA　☎0466(26)1151
○詳細につきましては、鎌倉YMCAまでお問合せください。

■J-WAY横浜YMCAゴスペルクワイヤ2019チャリティーコンサート
日　時　６月29日（土）午後３時
　　午後２時30分開場
会　場　横浜中央YMCA９階チャペル
入場料　500円（未就学児無料）
申込み　jwaygospel2002@gmail.com
○入場料は横浜YMCA国際・地域協力募金として用いられます。

カルチャー

＜なつかしい童謡や唱歌を歌います＞

■北YMCA　うたごえひろば
日　時　５月14日（火）
　　午後12時40分～２時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　北YMCA３階スタジオ
参加費　300円
申込み　北YMCA　☎045(433)4321

■湘南とつかYMCA　うたごえひろば
日　時　５月21日（火）午後２時～４時
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　湘南とつかYMCA１階ホール
参加費　300円
申込み　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

■藤沢YMCA　うたごえひろば
日　時　５月17日（金）午後１時15分～３時15分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　藤沢YMCA
参加費　300円
申込み　藤沢YMCA　☎0466(26)1151

■厚木YMCA　うたごえひろば
日　時　５月28日（火）午後２時～３時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　厚木YMCA
参加費　500円
申込み　厚木YMCA　☎046(222)8619

■生麦地域ケアプラザ　うたごえひろば
日　時　５月15日（水）午後１時30分～３時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　生麦地域ケアプラザ（横浜YMCA運営委託）２階多目的ホール
参加費　100円
申込み　生麦地域ケアプラザ　☎045(510)3411

子育て支援

■横浜子育てサポートシステム入会説明会
日　時　５月21日（火）、29日（水）午前10時30分～11時30分
会　場　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
対　象　横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
問合せ　横浜子育てサポートシステム中区支部事務局　☎045(663)0676

学校説明会

■横浜YMCA学院専門学校作業療法科
日　時　５月25日（土）午前10時～12時30分
内　容　AO入試説明会
申込み　☎045(641)5785

■YMCA健康福祉専門学校
日　時　５月11日（土）午前10時～正午・*午後２時～５時
　　25日（土）午前10時～正午
内　容　AO入試説明会、*学校説明会
申込み　☎046(223)1441

■横浜YMCAスポーツ専門学校
日　時　５月18日（土）
　　午前９時30分～12時30分
内　容　保育園見学、サッカーコーチ理解・グラウンド見学
申込み　☎045(864)4990
○６月１日からAO入試願書受付を行います。詳細はお気軽に各校へお問合せください。

ボランティア情報

■子育て応援ボランティア説明会
日　時　５月17日（金）午後２時～３時
会　場　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
問合せ　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
　　☎045(663)9715
○地域での子育てをお手伝いしていただける方を募集します。お気軽にご参加ください。

■夏期キャンプボランティアリーダー募集
日　時　７月～８月
内　容　夏のキャンプで子どもたちと一緒に生活しながら、プログラムや子どものサポートなどを行います。事前にトレーニングを行います。
申込み　６月29日（土）までに各YMCA健康教育部までお申込みください。連絡先は４面上をご参照ください。
○日程やプログラム内容などの詳細は各YMCA健康教育部へ

My Story 112

ウエルカムとリスペクトの気持ちで留学生をサポート

横浜YMCA学院専門学校 日本語学科
ボランティアチューター
和田　登志子

私たちは普段チューターと呼ばれ、YMCAの日本語学校で学んでいる留学生たちが、日常会話に慣れるためのお手伝いをしています。

毎週１回、放課後に一対一で、１時間から１時間半程度会話をしますが、教えるのではなく、あくまでおしゃべりをする感覚で接するようにしています。日常生活でよく使う言葉や名称、日本の文化や風習、季節の行事などを話題にしながら、母国での生活ぶりなども聞かせてもらいます。時にはしりとりや連想ゲームに興じることもあります。

私がこの活動を始めたのは、何気なく見ていたYMCAのホームページに、チューター募集の文字を見つけ、いろいろな国の人と話が出来るのは楽しいかもと興味をもったのがきっかけで、今年で15年程になります。最初の頃は、中国、台湾、韓国の人がほとんどでしたが、最近は、ベトナム、タイ、スリランカ、ネパール、ミャンマー等、さまざまな国から留学生が入学してくるようになりました。

学生は、１年から２年の期間で卒業していきますが、最初は緊張していても、半年も経つと、自分から話題を提供してくれるようになり、毎年その成長ぶりに感心しています。YMCAのカリキュラムがしっかりしているのでしょう。宿題も多いとか…。学生たちは良く勉強しています。年に数回、ビジターセッションというのがあり、クラスを訪れて、学生のグループと会話をする機会もありますが、クラスには活気があふれていて、雰囲気の良さを実感します。時に厳しく、時に優しく接していらっしゃる先生方の姿を垣間見ることもあります。

日本のことを知ってもらう半面、私自身の視野が広がり、勉強になることが多くあります。この活動をすることで心がけていることは、日本を選んでくれてありがとうというウエルカムの気持ちと、彼らの国へのリスペクトの気持ちをもって接することです。

彼らが日本での生活に慣れていくサポートができるよう、気力、体力の続く限り、留学生との会話を楽しんでいきたいと思っています。

▲日本についての疑問を日本人に聞くビジターセッションの授業で質問を受ける（2019年1月/手前左から2人目）

▶デスクペン　新しい年度がスタートして1カ月が過ぎました。新しい環境に慣れない、学校や職場に行きづらい、そのような思いを誰かに話をしてみませんか。一人で悩んでそうな人がいたら、声をかけてみませんか。（直）